

事務事業名	墓園事業費特別会計									担当課	部課名	福祉部福祉総務課				
予算科目コード	会計	15	款	0	項	0	目	0	細目	00	説明	0	課等の長	古郡 亘幸	電話	3127

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 45 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公園墓地としての大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理等を行う。また、市民の墓地需要に応えるため、大庭台墓園立体墓地再整備事業を行う。						
事業目的及び必要性	公園墓地としての環境整備を図るとともに、利用者にとって安全で快適な場所を提供する。また、合祀墓の建設を含む大庭台墓園立体墓地再整備事業を進めることにより、市民の墓地需要に継続して応える。						
対象	1. 個人	墓地を有しない市民、墓地使用者				438,968 人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市大庭台墓園の墓所の管理に関する条例					
藤沢市市政運営の総合指針2024及び長期的な視点(SDGsの視点)							
まちづくりコンセプト			重点施策名				
<input type="checkbox"/> サステナブル藤沢 <input checked="" type="checkbox"/> インクルーシブ藤沢 <input type="checkbox"/> スマート藤沢 (その理由)市営墓地には、市民が承継者の有無や経済的な理由によらず墓地を取得できるよう、受益者負担を原則としながらも、経済的負担をできる限り軽減するよう努める役割があるため。			都市基盤の充実と長寿命化対策の推進				
			指針体系コード				
			4-1-11				
2030年又は事業終了時の望ましい姿			その他の計画との関連				
・公園墓地としての環境整備を図るとともに、利用者にとって安全で快適な場所を提供する。 ・大庭台墓園立体墓地再整備事業を進めることにより、市民の墓地需要に継続して応える。			「第3次公共施設再整備プラン」実施事業(No.19)				
			貢献する主なSDGsのゴール				
			11 住み続けられるまちづくりを				
			15 陸の豊かさを守ろう				
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継いでいると感じますか？		2.83 点	2.8 点	2.83 点	2.73 点		
		点	点	点	点		

令和3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	墓園管理費	318,624 千円	公園墓地としての大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理等
	貸付事務費	5,891 千円	大庭台墓園の墓地使用者の公募及び貸付業務
	工事費	54,064 千円	公園墓地としての大庭台墓園の整備事業
	墓園基金積立金	191,389 千円	墓地永代使用料等を原資とし、基金運用収益等を基金に編入
571,632 千円	墓地永代使用料等還付金	1,664 千円	墓地使用返還等に伴う既納の墓地永代使用料等を還付
【参考】 令和4年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	墓園管理費	340,939 千円	公園墓地としての大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理等
	貸付事務費	7,145 千円	大庭台墓園の墓地使用者の公募及び貸付業務
	工事費	58,245 千円	公園墓地としての大庭台墓園の整備事業
	墓園基金積立金	190,438 千円	墓地永代使用料等を原資とし、基金運用収益等を基金に編入
600,117 千円	その他	3,350 千円	墓地永代使用料等還付金、予備費

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常時勤務職員※	-	-	1.88人工	1.45人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	-	-	0.00人工	0.00人工
非常勤職員	-	-	-	-
合計	0.00人工	0.00人工	1.88人工	1.45人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)			3.80人	3.80人
---------------	--	--	-------	-------

3. 事業実施内容・成果

令和3年度 事業実施 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・墓地管理料の徴収、墓所管理、植栽管理、清掃、機械警備、電気工作物保守点検等の業務委託や施設の各種修繕を行った。 ・759区画の新規墓所を提供した。 ・大庭台墓園立体墓地再整備設計委託に着手した。 						
	指標名	単位	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	備考
成果目標	墓所使用区画数	区画	32,825	33,414	34,172	34,864	
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	備考
	新規墓所提供数	区画	707	804	686	759	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	墓所使用区画数	区画	32,933	33,627	34,174	34,776	
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
コスト	行政費用(フルコスト) A	537,996	626,332	586,797	644,692					
	(1)現金を伴う支出 (千円)	539,108	575,166	585,095	594,591					
	事業費(支出済額)	521,845	555,598	560,676	571,632					
	償還金利子	0	0	0	0					
	人件費合計(①+②+③)	17,263	19,568	24,419	22,959					
	①常時勤務職員等の給与等	14,942	14,077	15,204	12,972					
	②会計年度任用職員の報酬等	1,556	4,601	8,199	9,381					
	③退職金相当額	765	890	1,017	606					
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,112	51,166	1,702	50,101					
	①減価償却費	0	50,835	0	50,743					
	②退職給与引当金繰入額	-1,798	-258	1,020	-1,296					
	③不納欠損額	686	589	682	654					
	④その他()	0	0	0	0					
収入	行政収益(事業収入) B	0	0	0	571,632					
	(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	571,632					
	①分担金及び負担金 c				0					
	②使用料及び手数料 d				369,106					
	③国庫支出金				0					
	④県支出金				0					
	⑤その他(墓園基金繰入金等)				202,526					
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0						
収入未済増減額	0	0	0	0						
収支差額(純費用) A-B E	537,996	626,332	586,797	73,060						
分析指標	項目	墓所使用区画数 F	32,933	33,627	34,174	34,776				
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		16,336.08	18,625.87	17,170.86	18,538.41				
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		1253.14	429,317	1446.29	433,060	1348.58	435,121	166.44	438,968
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.57				

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	社会情勢の変化に伴い、市民の墓地需要も多様化している。市民ニーズや墓地需要動向に合わせ、今後の市営墓地のあり方をどのようなものとするか検討する必要がある。
(2) (1)解決のための令和3年度の取組	大庭台墓園立体墓地再整備基本構想を基に、大庭台墓園立体墓地再整備設計委託に着手し、市民の需要に適した立体墓地の増設について検討を行った。
(3) 令和3年度末時点の課題	引き続き、市民ニーズや墓地需要動向に合わせ、今後の市営墓地のあり方を検討する。また、2年目となる大庭台墓園立体墓地再整備設計委託が予定どおり進捗するよう努める。
(4) (3)解決のための今後の取組	関係者の意見等を踏まえ、公共建築課及び設計業者と連携し、市民の需要に適した立体墓地の再整備について引き続き検討を行う。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) <input type="radio"/> イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input type="radio"/> ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	<input type="radio"/> ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和3年度支出済額	<input type="radio"/> ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<input type="radio"/> ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 施設等維持管理	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	新規墓所提供数は増加傾向にあり、市民の墓地需要は高い。平面墓地の再募集に多数の申込がある一方、承継者不在等による墓じまいや合葬納骨壇の利用申込者も増加傾向にあり、墓地需要に対する市民のニーズが多様化している。	
他市等の事例	川崎市緑ヶ丘霊園 合葬型墓所 ・遺骨を袋に入れて埋蔵する形式で約20,000体の埋蔵が可能(一度埋蔵した遺骨の改葬は不可) ・使用料:1体あたり70,000円 ・管理料:1体あたり30,000円(永年分)	
市民ニーズ	把握方法	2020年3月に市民4,000人を対象として「墓地に対する市民アンケート」を実施した。 (回答数 1,463人、回答率 36.6%)
	把握内容	多様化する墓地需要等に関する動向、情勢を把握した。
	対応等	アンケート結果に基づき、2021年3月に市民ニーズを反映した大庭台墓園立体墓地再整備基本構想を策定した。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	既存墓地の維持管理等により墓園・墓所の環境向上が図られた。また、令和2年度を上回る新規申込があり、市民の墓地需要に対応することができた。	
今後の方針	まちづくりテーマ	④ 都市の機能と活力を高める
	事業の方向性	現状維持
	平面墓地の再募集に多数の申込がある一方、承継者不在等による墓じまいや合葬納骨壇の利用申込者も増加している。多様化する市民ニーズを把握し、2021年3月に策定した大庭台墓園立体墓地再整備基本構想を基に、令和7年度の供用開始を目指し、合祀墓の建設を含む大庭台墓園立体墓地再整備事業を進めていく。	

9. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------